

災害対策パンフレット

～災害に向けた情報共有～

平時の対策

- 災害時に透析施設とどのように連絡をとるのか、確認しておきましょう



- 自分の透析の方法などについて覚えておきましょう

- **ドライウエイト (DW)**：ドライウエイトを覚えておくことも大切ですが、その測り方も大切です。靴を含んだ体重なのか、いつもどのような服を着て体重を測っているのか、答えられるようにしておきましょう。



- **禁忌薬・アレルギー**：使えない薬、医療器材、消毒薬がある場合には答えられるようにしておきましょう。数が多い場合には、メモをつくっておきましょう。



- **人工血管内シャント (AVG) の場合**：どこから血液を取り出して、どこに血液を戻すのかを覚えておきましょう。

- **感染症の有無**：肝炎ウイルスなどの有無も重要です。

- **透析患者カード**：透析患者カードを持っている場合は、最新の情報に修正しておきましょう。



災害時の対応

●自分の施設で透析が受けられるのか、確認しましょう

透析を受けられない場合の対応も確認する必要があります。また、透析を受けた後に、次の透析はいつ受ければよいのかを確認してから帰宅するようにしてください。

●避難所では、透析を受けていることを伝えましょう

自分が透析を受けていることを避難所の管理者に伝えてください。とくに腹膜透析（PD）を受けている人は、どこで治療を受けるかを確認する必要があります。



災害対策で重要なこと

●まずは透析施設と連絡をとってください。

●自分の透析療法を覚えましょう。

とくに重要なのは、

- ①ドライウエイトとその測り方
- ②使えない（禁忌）薬・医療機材
- ③人工血管の流れる向き

●避難所では、自分が透析を受けていることを管理者に伝えてください。

